

東アジア経済統合に向けた日中経済関係の分析

—①貿易の側面から

劉曙麗(Liu Shuli)

PhD Student & GIARI Research Assistant at Graduate School of Asia-Pacific Studies (GSAPS),
Waseda University.

日本を含むアジア諸国にとって中国は重要な貿易相手国であり、他方中国側も、産業高度化、エコ、新エネルギーの利用への成長モデル転換の多くの分野で日本の協力を求めている。よって、東アジア地域の枠組みの下で、日中経済関係を各側面から分析、実態を解明することは日本と中国の両国だけでなく、東アジア地域共同体を構築するためにも、重要かつ喫緊なテーマである

本報告では、貿易関係を中心として、産業別、取引財別に厳密な分析を行い、東アジア生産ネットワークにおけるモノ（貿易）が如何に移動していた（いる）か、日本と中国はこのネットワーク内でどのような役割を担い、関係を持っているのかを解明する。

Date : Wednesday, June 23rd, 2010

Time : 18:30~19:30

Venue : Waseda University, Building No.19,
Room 310

Presentation in **Japanese** (日本語; No Interpreter)

Admission Free / No Pre-Registration Required

Organized by: Waseda University Doctoral Student Network (WUDSN)

<www.waseda-giari.jp/jpn/wudsn/index_e.html>

Supported by: Global Institute for Asian Regional Integration (GIARI)